

今、改めて見直そう。災害への備え

熊本県では、例年6月・7月の降水量が多く水害が発生する可能性が高まります。また、令和6年能登半島地震をはじめ、地震による被害が各地で発生しています。災害はいつ、どこで起こるかわかりません。いざというときのために事前の備えが重要です。

避難行動についてまとめてみよう

自宅や職場の「災害リスク」を知る

- 自宅や職場などの周辺のハザードマップ(防災マップ)を確認しましょう

ハザードマップは、お住まいの市町村で配布されるほか、ウェブサイト「防災情報くまもと」でも確認できます。



河川の氾濫(洪水)

- ▶浸水する範囲と深さ

土砂災害

- ▶土砂災害のおそれのある範囲

高潮・津波

- ▶浸水する範囲と深さ



避難先を決める

- 避難先は、市町村が定める避難所のほか、安全な地域の「親戚・知人宅」、「ホテル・旅館」などもあります。



- 崩れやすい場所や浸水しやすい場所を避け、安全に移動できる避難経路も、あわせて確認しましょう。

一緒に避難する人を確認する

- 高齢者や障害のある方、妊娠中の方など、避難に時間がかかる方がいる場合は、早めの避難が必要です。



- 連絡先や、仕事などで家にいないときの合流方法も、あらかじめ決めておきます。

避難するタイミングを知る

- 台風や大雨のとき

雨や風が強まる前に、明るい時間帯の避難を心がけます。市町村が発令する情報を確認し、早めに避難しましょう。



警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	行動を促す情報(市町村発令)	防災気象情報(警戒レベル相当)
4	災害のおそれ高い	危険場所から全員避難	避難指示	土砂災害警戒情報
3	災害のおそれあり	危険場所から高齢者等は避難	高齢者等避難	大雨警報

- 地震のとき

まず、頭を守る行動をとり、強い揺れがおさまってから安全な場所へ避難します。



津波が発生しそうなときは、揺れがおさまったらすぐ、高台や津波避難場所に避難します。海岸から離れ、「より高い」場所を目指します。

家具の固定や、ガラスに飛散防止フィルムを貼るなど、日頃からの備えで危険を減らせます。

非常持ち出し品・備蓄品を準備する

- 非常持ち出し品

避難時に持ち出すものを普段から準備しておきましょう



- | | |
|------------------------------|-----------------|
| ■現金・貴重品
(通帳・印鑑・健康保険証・免許証) | ■靴・スリッパ |
| ■懐中電灯/ランタン | ■防寒着 |
| ■乾電池 | ■毛布 |
| ■モバイルバッテリー | ■タオル |
| ■(ウェット)ティッシュ | ■眼鏡・コンタクトレンズ保存液 |
| ■飲料水 | ■薬・お薬手帳 |
| ■食料 | ■歯ブラシ |
| ■衣類 | ■生理用品 |
| | ■マスク |

- 備蓄品

電気・ガス・水道などのライフライン被害や物資供給の停滞に備えて、日頃から自宅に、生活用品を備えておきましょう

- | | |
|---------------------------|--------------|
| ■保存食・インスタント食品
(人数×3日分) | ■ラップ |
| ■飲料水
(1人1日3L×3日分) | ■ビニール袋 |
| ■給水ポリタンク | ■(ウェット)ティッシュ |
| ■紙皿・紙コップ・割り箸 | ■タオル |
| | ■簡易トイレ |

食料品や水は、日常利用分を少し多めに購入しておき、消費した分を買い足すことで、一定量の食品が備蓄された状態を保つ日常備蓄(ローリングストック)を行います。



みんなで共有する

- ここまでの内容を、梅雨入り前や台風シーズン前に、改めて確認し家族で共有しましょう。



情報を集める

- 最新の気象情報や防災情報を集めて、適切な避難行動に繋がしましょう。



気象庁では、線状降水帯による大雨の予測情報の精度を高め、府県単位に絞り込んで発表しています。

- テレビ・ラジオ

- 県防災情報メールサービス

登録すると、最新の気象情報や避難情報などが届きます。

熊本県防災情報メール 検索



- 「防災情報くまもと」

県内のあらゆる防災情報をタイムリーに提供しています。

防災情報くまもと 検索



専用ウェブサイトで、あなたのマイタイムライン(防災行動計画)を作成しましょう!

熊本県 マイタイムライン 検索



地域で備えよう

- ▶高齢者や障害のある方、外国人の方など、ひとりでの避難が難しい人が周囲にいたら、地域住民で協力しあい支援しましょう。

- ▶災害発生時に備え、地域住民が協力して防災活動に取り組むため自主的に結成する「自主防災組織」では、地区防災計画の策定や防災訓練、防災知識の普及・啓発などを行っています。

[問い合わせ先]お住まいの市町村

訓練や支援制度で備えよう

- ▶市町村や地域の防災訓練に積極的に参加して、防災に関する知識を身に付けましょう。

各市町村では、総合防災訓練などの機会を通じ、地震や津波を想定した訓練を行っています。

県でも、日奈久断層地震を想定し、10月および12月に、能登半島地震を踏まえた陸上ルート遮断時における天草への支援訓練(大型輸送艦を含む)を行います。

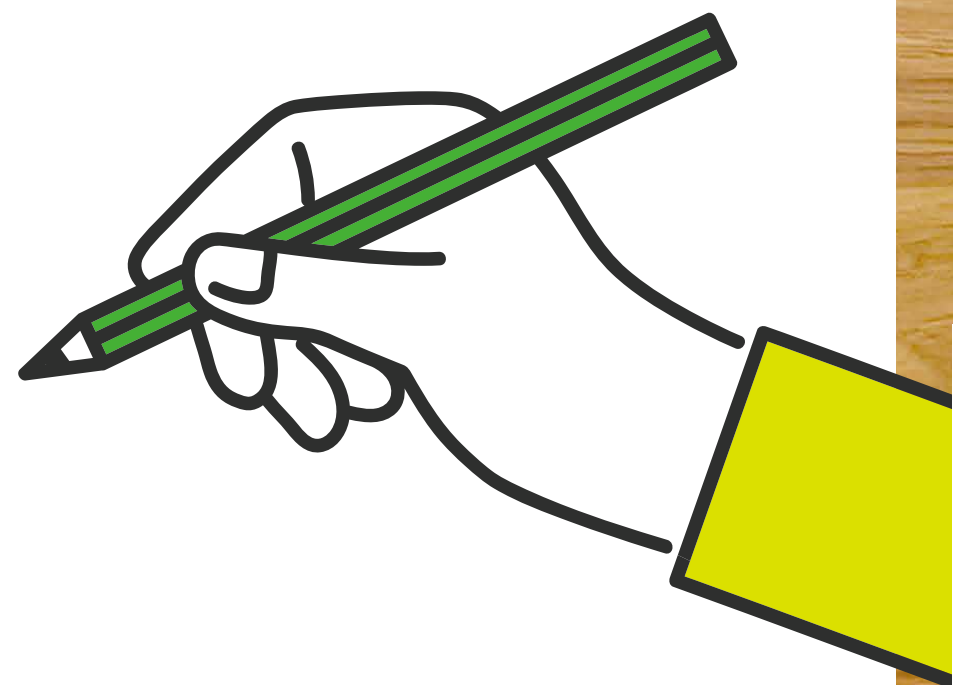
- ▶安心して住み続けられる「すまい」の確保のための支援制度があります。

- 土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)からのすまいの移転に要する費用の補助

[問い合わせ先]お住まいの市町村

- 戸建て木造住宅の耐震化に要する費用への補助制度

[問い合わせ先]お住まいの市町村



今秋、県内で全国規模の防災イベントが開催されます。災害の教訓や復興の歩みを国内外に広く発信します。

●ぼうさいこくたい2024in熊本

日時:10月19日(土)・20日(日) 場所:熊本城ホール、熊本市国際交流会館、花畑広場
[問い合わせ先]危機管理防災課 ☎096-333-2811



●「世界津波の日」2024 高校生サミットin熊本

日時:10月23日(水)・24日(木) 場所:熊本城ホール
[問い合わせ先]危機管理防災課 ☎096-333-2812



6月30日(日)~7月6日(土)を熊本防災ウィークとして令和2年7月豪雨からの復興の状況や「緑の流域治水」の取り組みを広く発信します。

